

矢部高校通信

文責：校長

くまもと林業大学校 入校式



この春、林業科学科を卒業した4人が、熊本県の林務課が所管する「くまもと林業大学校」へ入校しました。この学校は、くまもとの森林・林業を守り未来へつなぐため、次世代をリードする林業の担い手育成を目的としています。1年間の長期課程では、資格取得とともに実践的な学びを深めます。入校式では、知事告辞や校長式辞にて入校生に期待することの大きさが伝わりました。その後、安全装備の手渡しもあり、いよいよ研修が始まります。中には女子学生もいて時代の変化を感じました。

職員のネームプレート

4月から私たち職員は木製のネームプレートを着用しています。これは、林業科学科で作製している認知症予防パズルの端材を利用したものです。SDGsの取り組みの一環でもあります。春休み中にレーザー加工機でコツコツとネームプレートを作製していただきましたが、林業科学科の2年生も作製に協力してくれました。「こういうものができました!」と、校長室まで届けてくれました。新入生にも早く先生方の名前を覚えてもらい、全職員で全生徒を育てる体制づくりにつなげていきたいと思っています。



メロンの定植



食農科学科の野菜部門では、毎年、メロン栽培をしています。野菜専攻の3年生が愛情をもって定植しました。マスクメロンは、野菜の中でも温度管理や肥料管理、水管理が難しいデリケートな果物です。難しい野菜だからこそチャレンジし、野菜栽培の基礎・基本から応用技術まで学んでいきます。これからの手入れに気が抜けませんが、おいしいメロンを作りたい。おいしいメロンを届けたい。その思いをもって生徒たちは日々の実習に臨んでいます。私も昨年購入しましたが、とても甘く、香りもよくて美味しいメロンでした。販売のときは、是非ご購入ください。

「総合的な探究の時間」

2年生普通科では、1年次に引き続き、NPO法人フミダスの協力を得ながら「総合的な探究の時間」に取り組んでいます。地域の現状や課題について理解を深め、テーマをグループごとに設定し、課題解決に向けてフィールドワークやICTを活用した発表に取り組んでいます。今年度の授業がいよいよスタートしました。どのような課題を見つけてくれるのか楽しみです。



農産物販売会



毎年恒例の春の農産物販売会が開催されました。食農科学科の生徒と職員が丹精を込めて育てた野菜苗、花苗、食品製造製品など14品目の販売がありました。10時販売開始でしたが、早い方は1時間以上早くから待っておられました。生徒たちも自分たちの役割を決め、交通整理や声掛け、会計や運搬係など笑顔で積極的に実習に臨んでいました。1年生にとっては、初めてのお客様への対応ということもあり、戸惑いもあったようですが成長につながったと思います。

体育大会選手決め・ダンス練習



5月12日(日)の体育大会に向けて本格的に始動しました。今年のテーマは「stay gold」です。紅団、蒼団に分かれて選手決めが行われましたが、みんな積極的に協力していたようです。また、ダンスの練習や空手の型の練習など、本番で披露できるように全体での練習も始まりました。私も大会当日を楽しみにしています!

育友会総会資料の綴じ込み

育友会総会に向けて資料作りをしました。200部ほどの作成となりましたが、そこへ、3年生の農業クラブの役員の生徒たちが手伝いに来てくれました。職員と生徒と談笑しながら資料作りができるというこの雰囲気が矢部高校らしいと感じました。お互いに困っていることがあれば声をかけ行動に移すことができることが大切ですね!

